

授業科目名・形態	基礎数学	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	倉坪茂彦	開講期	1～2年後期	単位数	2

【授業の主題】

数学は、現代社会を生きる上で必要な教養の一つです。身近なことでいえば、近い将来、教育ローン・住宅ローン・自動車ローンなど銀行から融資を受けて生活設計を立てる必要も出てくるでしょう、あるいは消費税の計算（内税・外税）の計算も避けて通れません。また、公務員試験や就職試験には、一般教養の一部として数学の問題が出ることもあるでしょう。日頃から数学的なものの考え方に馴れ、使いこなせるようにしておきたいものです。

【到達目標】

最近の各種公務員試験の問題を教材にして、文章を読んで、数学的な表現（式、不等式）に書き表し、それを解く、といったことができるようにする。

【授業計画・内容】

- 第1回 ピタゴラスの定理について
- 第2回 円周率 π について（円周の長さ、円の面積）
- 第3回 円周率 π について（球の体積・旧の表面積）
- 第4回 紙のサイズについて
- 第5回 文章題から連立方程式をたてる（1）
- 第6回 文章題から連立方程式をたてる（2）
- 第7回 文章題から連立方程式をたてる（3）
- 第8回 中間試験（前半）と数の表記（後半）
- 第9回 整数（約数・倍数・互除法など）の復習（1）
- 第10回 整数（約数・倍数・互除法など）の復習（2）
- 第11回 仕事と時間の問題（1）
- 第12回 仕事と時間の問題（2）
- 第13回 濃度の問題（1）
- 第14回 濃度の問題（2）
- 第15回 不等式が関係する文章題
- 第16回 最終試験

【授業実施方法】

講義形式で行います。

【授業準備】

前回の授業内容を復習しておくこと。課題（レポート）を自力で解くこと。

【主な関連する科目】

統計学 など

【教科書等】

指定しません。

【参考文献】

「公務員試験 スピード解説 数的処理」、実務教育出版

【成績評価方法】

授業態度等（20%）、中間試験（40%）および最終試験（40%）で総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

終了後、「おもしろかった」と思えるような講義になるといいのですが……。